

医学教育の質保証と国際認証評価

吉岡 俊正¹⁾ 奈良 信雄²⁾

要旨：今世紀になり実践医療が国際化し、さらに医療者の国際移動が盛んになった。各国の医学教育がことなるなかで、国際移動する医師の基本教育が適正におこなわれていることの国際的質保証が必要となった。現在、国際間で医科大学の教育の適正を評価し認証する制度が構築されている。教育の質保証は各医科大学が大学の理念、目標、および社会制度などによりおこなうものであるが、国際動向のなかで、社会が各大学の教育改善を認知する制度が必要となった。現在日本では制度構築が進められており、各医科大学も対応が迫られている。

(臨床神経 2013;53:1136-1138)

Key words：医科大学，認証，グローバルスタンダード，質保証，分野別評価

緒言

医療の国際化の促進により、医療者の国際移動が活発におこなわれるようになった^{1)~3)}。このような情勢の中で、個々の医師の断面的知識技能だけでなく、医科大学（医学部）での教育・トレーニングを経て修得される基本的教育がどのようにおこなわれたかの評価が必要となってきた。医師の教育制度は、国によってことなる⁴⁾。国際間で医科大学卒業生（International Medical Graduates; IMGs）が移動する機会が増えることにより、国際的基準で評価をおこない教育の適正を統一して判断する必要が生じてきた⁵⁾。現在国内および国際的に医科大学の教育質保証を評価し認証する制度が構築されつつある。本稿では、医科大学国際認証についてのこれまでと今後の展開を概説する。

国際動向

これまで医科大学の教育質保証は各国でおこなわれてきた。本来、教育改善は医科大学（学部）が自律的におこなうものである。各医科大学の教育改善を、国あるいは第三者評価機関が医科大学の教育が適切におこなわれているかを評価し、適正を認知するのが認証評価である。この分野別（学部別）認証評価制度は多くの国で実施されているが、日本ではおこなわれていない。国際間では教育制度あるいは国家間での教育質保証についての体制がことなる事から、IMGsを輸出する国、あるいは輸入する国の間で基準を統一する必要が生じる。欧州では共同体として各国の学生の単位互換、移動をふくめた自由化をおこなったが、他の地域では他国の医科大学の基準を別の国が定めることはできないため、IMGsへの対応が必要となった。世界医学教育連盟（World Federation for

Medical Education; WFME）は、2003年に国際分野別評価基準であるグローバルスタンダードを公開した。グローバルスタンダードは、基本医学教育（日本での学部教育）、卒業研修、生涯学習の三つの基準が公開されているが、現在医科大学の国際認証にもちいられるのは基本医学教育基準で、これは2012年に改訂された⁶⁾。

2010年9月のEducational Commission for Foreign Medical Graduate (ECFMG) 広報が、2023年以降米国の医師資格試験を受験するには、米国の認証評価もしくはWFMEグローバルスタンダードなどの国際基準による認証を受けた大学の卒業生であることを要件とすることを発表した。日本の医療に支障をきたす要因とはならないが、グローバル化の中で日本の医学教育および教育を受けた卒業生が国際的に認知されないことは、日本の高等教育、医学教育の信頼にかかわるため、この広報をきっかけに分野別質保証に関心が高まった。

国際基準による医科大学の評価はまだ試行段階であり、アジア地域では、中国医科大学、東京女子医科大学、サモア保健科学大学などで国際学部評価が行われた。米国ではECFMGとWFMEが共同し、カリブ海に点在する国の医科大学を認証する機関を構築する試行がおこなわれた。また、WFMEは各国および地域の認証評価機関をWFME基準に基づく認証評価機関として認証することで、その認証評価機関がおこなった認証評価が国際認証となる制度を構築した。

今後認証もしくは国際認証された医科大学は、国際的な医科大学のリストに認証の結果が公開されることになる。各国は、国外からの医師（研修医）受け入れの際、このリストをもとに応募者が適切な医学教育を受けてきたかを判断することになると考えられる。

¹⁾ 東京女子医科大学 [〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1]

²⁾ 東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センター

(受付日：2013年5月30日)

日本の対応

分野別認証制度は日本には無いが、日本の医学教育も独自の質保証がなされている。大学設置には公的審査が必要であり、設置後も教育の質を維持できない大きな問題があるばあいは解散命令を出される。教育の質の大幅な逸脱は日本では考えにくい。医学教育は各大学の理念、医師国家試験制度、共用試験制度など、個々の大学、国家制度、大学間の共同というさまざまなレベルで教育質保証をおこなっている。国際動向は、各大学の教育成果を社会が認知することである。自ら発信するだけでなく、外部から客観的に認知する制度が無いいため、現在構築が急がれている。

日本の分野別質保証、認証制度については二つのプロジェクトが進められている。一つは医学教育基準の策定で、日本医学教育学会は平成 25 年 7 月末に、医学教育分野別評価基準日本版を公開した⁷⁾。名称が示すように今後の国際認証も視野に入れ、グローバルスタンダードに沿って日本の医療・教育の特徴を加味した内容になっている。基準は、世界の医科大学が満たすべき「基本的水準」と、高質の教育を目指す医科大学が目標とする「質的向上のための水準」にわかれている。IMGs を各国が受け入れる条件となる教育完了時に適切な専門的能力を達成していること、すなわち教育成果 (Educational outcome) を保証することが求められている。

もう一つのプロジェクトは、認証評価制度構築である。現在全国医学部長病院長会議などで制度の検討がおこなわれているが、認証評価機関を誰が設置し、どのように運営するか決まっていない。認証評価では、大学 (学部) が基準に基づいて自己点検評価を来ない、外部の評価者が自己点検評価および実地調査の結果をもとに各基準についての適合を評価し、最終的に認否判定をおこなう。分野別評価の経験がない現状で、制度を設計し立ち上げ、円滑に運営するには時間を要する。国際認証の観点からはこれから設置される予定の日本医学教育認証評価評議会が、国際的に医学教育分野別評価機関として認証される必要がある。

おわりに

日本の医療水準、医学教育制度などと途上国から先進国までふくまれる世界の医療と医学教育の平均的水準を考えたとき、日本が国際的水準から大きく後れを取ることはなく、むしろさまざまな点ですぐれていると思われる。残念ながら現在それを国際的に認知する制度を日本は持ち合わせていないが、各国はすでに分野別評価制度を持ち国際的認知の方向で動いている。日本の医療、医師の需給は現在国内で自給自足しており IMGs の視点から国際化を意識しにくい環境ではあるが、各医科大学の教育が国際的にも適正であるという社会的認知をえることは、今後避けて通れない。各大学が自分の教育を見直し、より高い質の教育を目指す機会となる。

※本論文に関連し、開示すべき COI 状態にある企業、組織、団体はいずれも有りません。

文 献

- 1) Chen PG, Nunez-Smith M, Berg D, et al. International medical graduates in the USA: a qualitative study on perceptions of physician migration. *BMJ Open* 2011;1:e000138. doi:10.1136.
- 2) Dauphinee WD. Physician migration to an d from Canada: The challenge of finding the ethical and political balance between individual's right ot mobility and recruitment to underserved communities. *J Contin Educ Health Prof* 2005;25:22-29.
- 3) Norcini JJ, Mazmanian PE. Physician migration, education, and health care. *J Contin Educ Health Prof* 2005;25:4-7.
- 4) Boulet J, Bede C, McKinley D, et al. An overview of the world's medical school. *Med Teach* 2007;29:20-26.
- 5) Hallock JA, McKinley DW, Boulet JR. Migration of doctors for undergraduate medical education. *Med Teach* 2007;29:98-105.
- 6) World Federation for Medical Education: WFME Global standards for quality improvement. Copenhagen; WFME: 2012.
- 7) 日本医学教育学会. 医学教育分野別基準日本版, 2013 Aug. http://jsme.umin.ac.jp/ann/WFME-GS-JAPAN_v10.pdf

Abstract**International Accreditation of Medical School Towards Quality Assurance of Medical Education**Toshimasa Yoshioka, M.D., Ph.D.¹⁾ and Nobuo Nara, M.D., Ph.D.²⁾¹⁾Tokyo Women's Medical University²⁾Tokyo Medical and Dental University

An internationalization of practical medicine evoked international migrations of medical professionals. Since basic medical education is different among countries, the internationalization required international quality assurance of medical education. Global trend moves toward establishment of international accreditation system based on international standards. The World Federation for Medical Education proposed Global Standards for Quality Improvement as the international standards. Medical schools in Japan have started to establish program evaluation system. The standards which incorporated international standards have been published. The system for accreditation is being considered. An accreditation body, Japan Accreditation Council for Medical Education, is under construction. The accreditation is expected to enhance quality of education in Japan.

(Clin Neurol 2013;53:1136-1138)

Key words: Medical Schools, Accreditation, Global Standards, Quality Assurance, Program Evaluation
